



もっと ちょうだい

たかしは、きゆう食当番しよくとうばんが 大だいすきです。

おとなに なったみたいにかんじるからです。きょうは、みかと カレーをつぐ かかりを します。

クラスの みんなが ごはんのおさらを もって ならびました。たかしと みかは、どの おさらの カレーも、同じくおならいになるように、気きをつけながら、カレーを ついで います。

たかしの 前まえに 来きた、ゆうすけが 小ちいさな 声こえで 言いいました。

「もっと ちょうだい。」

たかしは、少すこし まよいましたが、

「ゆうすけは なかよしだから、いっぱい あげたいけど、

ひいきを しちや いけないから、ごめんね。」

と、すまなそうに 言いました。

ゆうすけは また 言いました。

「いいじゃないか。まだ、たくさん のこって いるよ。

たかしが そんな をする わけじや ないでしょう。」

たかしは、考えてしまいました。

みかは 気づいて いません。後ろに ならんで

いる 人にも、聞こえていないようです。

(どうしよう……。)

しばらく 考えてから、たかしは、言いました。

(文 編集委員会／絵 クリエイティブ・ノア)

？ かんが 考えよう

- ① 「もつと ちょうだい。」と言われたとき、たかしは なにを 考えたのでしょうか。
- ② しばらく 考えてから、たかしは なんと 言ったのでしょうか。

